

## 工作系④ 寒天封入標本

きしわだ自然友の会 藤田 吉広

### プログラムの概要とねらい

チリメンモンスター実習では、成果物の長期保存が課題となる。樹脂封入標本は、成果物の長期保存に向く一方、手順が複雑で、化学物質に過敏な人や未就学児には扱いにくいという問題がある。ここで紹介する寒天封入標本は、食材である寒天を封入剤として用いるため、安全かつ安価に一般家庭で容易にとり組むことが可能である。

実施形態：セミナー・ブースどちらでも可

対象年齢：小学生以上（保護者同伴の場合、未就学児可）

費用：100円（容器代除く）

※ 寒天封入標本の作成手法は、守岡佐保・和田隆史（2009）チリメンモンスター探し & チリメンアート作り、徳島水研だより第73号（[http://www.pref.tokushima.jp/\\_files/00158770/s\\_dayori72-1.pdf](http://www.pref.tokushima.jp/_files/00158770/s_dayori72-1.pdf)）を原典として、筆者がアレンジしたものである。

### ● 必要な道具

① 鍋 ② 食塩

③ 粉寒天

④ カセットコンロ

⑤ 蓋つき瓶

透明であれば種類は問わないが、ねじ口になっていて機密性の高いものがよい。100円均一ショップでも購入可能。

⑥ ピンセット ⑦ 温度計

⑧ 割りばし

⑨ 装飾用グッズ  
ビーズや乾燥海藻サラダ、食用着色料など（なくてもよい）

⑩ 消毒用アルコール



### ● 実施手順

① 鍋に水 450g と食塩 50g を入れ、沸騰させて濃度 10% の食塩水をつくる。その後、4g の粉寒天を入れ、割り箸でかき混ぜながら十分に溶かす（20ml 入りの容器で約 20 人分）。寒天を着色する場合は、この時点で食用着色料を少量入れておく。

② 瓶に流し込み冷ます。

③ 温度計で寒天の温度を測定し、45℃前後まで下がったら、チリメン標本をピンセットで寒天の中に入れる。水で戻した乾燥海藻サラダやビーズで飾りつけてもよい。

④ そのまま放置するか、冷却水を入れたバット等を用意し、その中に入れて冷ます。

⑤ 寒天が十分に冷めたら、液面に薄く消毒用アルコールを注ぎ込み、蓋をする。

### ● 実施にあたっての注意点

- ・ 会場で火や電気が使えないときは、あらかじめ寒天液を作成しておき、魔法瓶に入れて持ち込めばよい（ただし、使用する魔法瓶の保温性能は事前に確認する必要がある。保温性が十分でない場合、使用前に寒天が瓶の中で固まってしまう可能性がある）。
- ・ 食用着色料で色をつける際は、色が濃いと標本が見えにくくなるので、使用量は最小限にすること。
- ・ 温度管理に気をつけること。会場の気温によっては、寒天にチリメンを入れる作業時間が極端に短くなってしまいうこともある。

